

## 「治療・症例研究」参加手順のご案内

2021年11月1日改定

### (1) 当会で言う「治療・症例研究」の背景

**日本先進医療臨床研究会（以下「当会」）では2030年までにガンと難病で苦しむ人をゼロにする！という目標を掲げ「ガン難病ゼロプロジェクト」を推進しています。そしてこの目標を達成するための具体策として進行ガンや難治性疾患に対しての効果報告がある検査法や治療法を世界中から見つけてきて、実際の治療で効果を検証し、治療結果を集積する症例研究を行っています。またガンや難病を発病する前に防ぐ事の出来る予防法の発見にも注力しています。**

こうした取り組みの中核となる組織が先進的なガン治療や難病治療に取り組む統合医療系医師の会である当会（日本先進医療臨床研究会）や提携団体です。但し当会の主目的は研究ではなくあなたの病気を治す事です。会員医師はあなたの病気の治癒・改善・再発防止に全力で取り組みます。そしてあなたと同じ病気で苦しむ患者を救うため、治療結果を集積する症例研究を通して病と治癒のメカニズムを解析するのが第二の目的です。世界からガンや難病を無くすために、ぜひご協力をお願い致します。

### (2) あなたがお困りの病気・病状に対応する治療・症例研究があるかご確認ください。

ガンや難病でお困りの方は当会サイトの治療・症例研究ページからご自身の病気や病状に対応する治療・症例研究があるか確認してください。（<https://jscsf.org/clinicalresearch>）

### (3) 対応する治療・症例研究が見つかったら必要書類を入手してください。

対応する治療研究が見つかったら、治療・症例研究申込書一式（申込書、同意書、重要事項確認書、問診票、アンケート）をダウンロード・ネットプリント・郵送などで入手し、内容を熟読してください。なお当会の「治療・症例研究」は未承認の治療素材を使用した有償の自由診療による治療（または医師と相談の上で自己判断での素材使用）と、治療効果を収集する症例研究（文書研究）です。

### (4) 必要事項に記入してFAXまたはメール送信し、研究協力費をご入金ください。

内容を熟読の上、参加希望の場合は書類の必要事項に記入し、当会宛にFAX（FAX：03-4333-0803）またはメール送信（[info@jscsf.org](mailto:info@jscsf.org)）したうえで、研究協力費（11,000円）を、医師とオンライン相談希望の場合は（追加11,000円で合計22,000円）を、PayPay銀行 ビジネス営業部 普通 2519873 日本先進医療臨床研究会にご入金ください。

**（振込先：PayPay銀行 ビジネス営業部 普通 2519873 日本先進医療臨床研究会）**

### **(5) 申込内容を確認後、当会事務局より連絡が入ります。**

送付書類と入金を確認した段階で事務局よりご連絡し、担当可能な医師を探す段階に入ります。担当医師が見つかりましたら、再度事務局よりご連絡し、担当医師の医療機関をご紹介しますので、直接、診察予約をして予約日時に来院してください。また希望の地域に担当医師が見つからない場合、遠隔診療＋治療素材送付（点滴治療など以外）での対応となる場合があります。予めご了承ください。

### **(6) 治療素材代金・点滴代金などのお振り込みと治療素材の入手**

紹介された担当医師との診察で治療・症例研究への参加を決定した場合、治療素材や点滴処方などに関して担当医師より案内がありますので支払いをお願いします。（治療素材が輸入製品の場合クレジットカード等での支払いとなる場合があります。）入金確認後、治療素材がご自宅宛に発送されます。輸入製品の場合、入金後通常10日程度で届きますが2週間以上かかる場合もあります。予めご了承ください。

### **(7) 治療プロトコルに沿って治療素材を使用し、途中経過のご連絡**

治療素材が届きましたら医師の指示に従い治療素材の使用を開始します。基本的に1か月に1回程度の通院または遠隔診療となります。通院出来ない場合は治療素材の使用後、経過報告の電話を患者様から担当医療機関宛に行ってください。事務局スタッフに伝言を残して頂ければ大丈夫です。（ガンなど重篤な疾患の場合は2週間に1回程度、患者様より担当医療機関に電話して今後の治療方針などについて担当医師と相談してください。）

### **(8) 患者様からの報告を聞いて、継続するか中止・変更するか判断**

担当医師は患者様から病状・病態などの経過報告を聞き、必要であれば担当医師より折り返し電話連絡をした上で、実施中の治療を継続するか中止するか、または治療素材を変更して他の治療・症例研究に切り替えるべきか、などの判断をします。また担当医師として判断した治療提案を行います。

### **(9) 最終的に、効果があったか、なかったかの症例報告を収集**

当会では、実施した治療素材が治癒・改善・再発防止に対して最終的に効果があったか無かったか、担当医師よりの症例報告を収集し、ある程度（100症例以上）集積した段階で統計処理をして効果判定の結果を各種学会発表や論文発表などで公表する予定です。

当会では上記の様な症例研究により、ガンや難病を治癒・改善・再発防止できる治療法の探索に意欲のある医師・医療機関を広く求めています。また当会に素材を提供して下さる企業・研究者の方を求めています。そして標準的な治療だけでなく、新しい治療法・効果的な検査法・予防法を求めている患者様も、ぜひ当会までご連絡ください。